

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

<先週の説教から>

『わたしに繋がって』 茨木 公子 長老

ヨハネによる福音書 15 : 1-17

このような機会を与えられて、『この信仰薄き者にのみお与えくださった神様の恵みであることを思い返し、素直に受け止め、ありのままの自分を差し出してこの務めを果たさせていただきたい』との思いに満たされ、立たせて頂いております。

今年の教会標語は《主につながり、その枝としてひろげて》です。これは、ヨハネによる福音書15章「わたしは、ぶどうの木、あなた方は、その枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は、豊かな実を結ぶ」のみ言葉を基に与えられています。この章の1~7節の中に「つながる」という言葉が9回も出てきます。ここで言われている「つながる」という言葉には、大切な意味があり、また「つながる」という言葉は、「とどまる」という事でもあると教えられています。この『主につながる』という事は「主の言葉に聞き、留まり続けること」ではないでしょうか。それは、「イエスはまことのぶどうの木」の幹から流れ出てくる養分(=み言葉)によって、わたしたちの「主につながるつながり方」が、変えられるのではないかと思います。イエス様の「み言葉」に聞き、主の幹に繋がって留まり続けることによって、その枝は生き生きと豊かな実を結ぶようになるという「その実」とは“伝道”であると思います。

12節~13節以下では、イエス様は「わたしがあなた方を愛したように、互いに愛し合いなさい。これが、わたしの掟である。」と言われます。このイエス様の“愛”は、十字架と復活以外にはないのであり、ご自身が十字架への道に立ち、すべての者に救いの御業を成してくださった事実のみなのです。まさに「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」と言われたみ言葉の通りではないかと思います。

16節の「あなた方がわたしを選んだのではない。わたしが、

あなた方を選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るように」というみ言葉は、それぞれの状況によって受け止め方は異なりますが、私にとってのこのみ言葉は、教会生活、信仰生活の中でのさまざまな状況の中で私を励まし、捉え、支え、守り続けてくれた《命綱のようなみ言葉》です。「わたしが選んだ」という“神様の選びの恵み”に与った者に命じられていることは、「あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るように」と私たちを立てて“任命”してくださっているのです。これは、伝道であり、福音の種まきをするためにではないでしょうか。この教会に集う一人ひとりに、「わたしが選んだ!」と呼び掛けてくださっているのです。

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 6月26日(水) 20:00
II. 6月27日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題: オリーブの葉編集委員会を覚えて
担当者: (水) 鈴木 (木) 橋本
祈りに覚える人: 伊藤さん 佐藤さん
*ひつじ雲の会 6月25日(火) 13:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男12 女46 計58
祈祷会 I. 男5 女3 計8 II. 男1 女7 計8
日曜学校 幼稚科3 小中科9 計12
ハンナの会(6月18日) 男1 女7 計8

【次週主日礼拝】 6月30日(日)

聖書: 詩編 44:1~27
ローマの信徒への手紙 8:33~39
説教: 「詩編44 — 私が寄り頼むのは自分の
弓ではない」 武田 真治 牧師
讃美歌: 225(1)、32、140、505、481、
88(1)

【次週当番表】

司式: 羽倉長老 奏楽: 須田 礼拝: 坂田長老
献金: 齋藤 佐伯 受付: 北條
会堂準備: 阿部 伊藤 伊東 岩井
岩井

看板: 岩佐 週報: 高橋 お花:

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会
礼拝後: ・信徒セミナー ・聖歌隊練習

2024年 6月 23日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>